

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和4年度）

施設の名称	名取市震災復興伝承館
指定管理者の名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
施設所管部課（室）	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
	所在地	名取市増田1-1-3
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ <u>非公募</u>	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市震災復興伝承館	
所在地	名取市関上東1-1-1	
設置年月	令和2年4月1日	
根拠条例等	名取市震災復興伝承館条例	
設置目的	東日本大震災の記憶及び教訓を後世に伝承し、当該震災を風化させることなく、防災意識を醸成するとともに、市民、復興支援者及び来訪者の交流を促進するため。	
施設の内容	震災伝承施設	
開館時間	4月～11月：午前9時30分～午後4時30分 12月～3月：午前10時～午後4時	
休館日	毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）	
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務	
利用料金制度	採用の有無	有 ・ <u>無</u>
	利用料金の名称	

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	
開館日数	308日	259日	254日	118.9%
延べ利用者数	48,498人	27,067人	35,519人	179.2%
利用者数 (人/日)	157.5人/日	104.5人/日	139.8人/日	150.7%
主な増減原因	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学校関係の修学旅行が海外から国内旅行に変更になった事と、新型コロナウイルス感染症がある程度落ち着きを見せている事と震災から12年の節目に被災地の復興状況をご覧になる為に遠方からの個人旅行者が増えたのと館内での企画展示が行われて事で増加したと思われる。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	
指定管理料	8,300	8,300	8,300	100.0%
利用料金収入				
その他	111	100	64	111.0%
収入計 (ア)	8,411	8,400	8,364	100.1%

(2) 支出

人件費	3,523	2,621	3,536	134.4%
施設管理費	3,740	3,575	2,717	104.6%
事業運営費	808	1,258	110	64.2%
その他	36	302	687	11.9%
支出計 (イ)	8,107	7,756	7,050	104.5%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア) - (イ)	304	644	1,314	47.2%
前期繰越収支差額	1,958	1,314		149.0%
次期繰越収支差額	2,262	1,958	1,314	115.5%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

<サービス向上の取り組み>

- ・来館者の問い合わせには、引き続き丁寧な対応を心掛けている。
- ・来館者からパネル、ジオラマ等の説明を求められた時に対応を行った。
- ・周辺施設の観光案内や域内の観光情報を発信するため、各種パンフレットやイラストマップの配布を行った。また連携する震災復興施設や旅行会社からの問い合わせに応じ、当館の施設案内や各種観光パンフレットの発送を行った。
- ・来館者へ施設利用に関するアンケート調査を行い、更なるサービスの向上と改善に努めた。
- ・名取市をPRするため、名取市オリジナル手ぬぐいと復興桜クリアファイルの販売を開始した。

<利用者数増加のための取り組み>

- ・個人で来館された方々にも「語り部」の話が聞けるように名取市で作製した『名取市東日本大震災「語り部」の記録映～震災を語り継ぐ人々～』をコミュニティスペースで放映した。
- ・閑上出身のイラストレーターicoさんの「防災イラスト展」「ワークショップ」を開催した。
- ・東日本大震災前に保管され、奇跡的に津波の被害を免れた閑上港の大漁旗 約20枚を館内に展示した。また懐かしい閑上港の風景写真と共に閑上大漁唄い込みの音源を流した。
- ・名取市生涯学習推進本部と連携し、「なとりまなびパスポート(まなびの記録)」の対象施設になり館内を見学した来館(市内在住、勤務・通学している小学生以上が対象)へのスタンプを設置し、また、名取市震災復興伝承館のオリジナルスタンプも引き続き設置した。
- ・名取市企画協力「なとりの魅力再発見ツアー」体験プログラムや(株)JTB仙台支店と連携して県外からの高校生を対象した教育旅行の実施し、また(一財)世界防災フォーラムとの研修の受け入れを行った。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

・開館当初より、堤防上の散策や釣りなどのレジャー活動のついでに来館される方が非常に多く見受けられ、入館料無料のため気軽に立ち寄れる施設として利用されている。

・被災前の閑上地区のジオラマに対しての要望(建物の位置や階数、表記されている名前が違う、追加など)には、引き続き可能な限りの対応を行っている。

・一部来館者より、東日本大震災の被害状況や復興にまつわる詳細な情報等を求められた際の対応方法として、駐在している職員が出来るだけ柔軟に対応ができるよう、名取市生活経済部商工観光課職員などと連携して資料や情報などを取得し、対応出来るよう取り組んだ。

・一部の利用者から、風のポストに自由形式で手紙を投函し、その公開を希望されるケースがあるが、投函内容とその公開に関して市と協議の上、運用ルールを定めた。個人を特定し得る情報に留意し、展示室内で約1年間を目途に閲覧が可能になる様に、ファイルや書棚を調達した。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

・昨年、国が発表した日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波が閑上地区で約10mが予想されることから改めて防災消防対策を見直し、引き続き消防訓練の実施と新たに津波に対する避難訓練の実施と避難計画を確認する。

・館内に設置してあるAEDの使用方法を緊急時に駐在している職員が使用できるように名取市消防署の講習会等を受講する。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	△	△
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

令和2年5月の開館から令和5年3月までの約2年10ヶ月の間、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、年度利用者数27,067人を大きく上回る48,498人の利用者数となった。学校の修学旅行等での来館数が増加したこと、また自主事業で閑上港の大漁旗の企画展示や閑上出身のイラストレーターのイラスト展を実施するなど、利用者数を増やす取組みを積極的に行ったことは評価に値する。

※以下、個別評価について

○利用者の満足度向上に向けた取組みについての評価

個人で来館された方々にも語り部の話が聞けるように、コミュニティスペースで語り部の記録映のDVDを上映し、震災の記憶の伝承に寄与した。また、限られた人員のなかで利用者より詳細な説明を求められた際は柔軟に対応しており、来年度も利用者の増加が期待できる。

○業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っているという項目について

様々な視点からの震災伝承や防災意識の醸成のため、職員研修や教育等を積極的に実施し、震災を風化させないための仕掛けづくりが多くできるように来年度も期待する。